

京都府食の安心・安全行動計画に基づき
施策の目標（平成28～30年度）

第4次京都市の安心・安全行動計画における数値目標(一覧)

Table with columns: 前計画の数値目標NO., 取組, H20実績, H21実績, H28目標, H29目標, H30目標, 主要担当課, 備考. Rows 1-50 list various food safety measures like food safety campaigns, inspection activities, and risk management.

※1 食情報提供店数 ※2 校外下部参照

※3 括弧内は小中学校の統廃合に伴う給食調理施設数(予定)

1 食の信頼感向上に向けた情報提供の強化と府民参画の拡大

【伝え共に考える】

生産から加工、販売までの京都の事業者が積み重ねてきた食の安心・安全の取組に係る情報を、消費者、団体、企業等に対し、効果的な方法、媒体で提供します。

府民が、世代の特性に応じて体系的に食品の安全性、表示等についての正しい知識を入手、理解、活用することにより、心身共に健康な食生活を送ることができるよう支援します。

- (1) 京都府や府内事業者の食の安全への取組・施策を効率的にしっかり伝える
- (2) 国内外に向けた情報発信

数値目標 ① 【前計画-④】

取組	26年度 実績	27年度 実績	年度別計画			
			28年度	29年度	30年度	
府ホームページ等において、府の施策・取組を分かりやすく紹介(回/年)	12	12	計画	12	12	12
数値目標の考え方						
府の施策や行事の最新情報を、毎月1回ホームページ「食の安心・安全きょうと」に分かりやすく掲載します。						
参 考						
担当課						
食の安心・安全推進課						

数値目標 ② 【前計画-⑤】

取組	26年度 実績	27年度 実績	年度別計画			
			28年度	29年度	30年度	
府民に関心の高いテーマについて講演会等による情報提供[食に関する全般的なテーマ](回/年)	8	12	計画	8	8	8
数値目標の考え方						
府民からの依頼等に基づき、府内各地で食の安心・安全に関する講演会等を開催し、きめ細かい情報を提供します。						
参 考						
担当課						
食の安心・安全推進課						

数値目標 ③ 【新規】

取組	26年度 実績	27年度 実績	年度別計画			
			28年度	29年度	30年度	
食品関連事業者と連携した食の安心・安全に関する情報提供 (回/年)	24	24	計画	24	24	24
数値目標の考え方						
食品関連事業者が発行するチラシや店頭掲示物、ホームページやメールマガジン等とタイアップし、食の安心・安全に関する情報提供を毎月2回行います。						
参 考						
担当課						
食の安心・安全推進課						

数値目標 ④ 【前計画-⑭】

取組	26年度 実績	27年度 実績	年度別計画			
			28年度	29年度	30年度	
事業者向け食品表示講習会の開催 (回/年)	6	6	計画	5	5	6
数値目標の考え方						
農産物直売所出品者、商店街事業者等の中小規模事業者を対象に、府内6か所で1回ずつ開催し、複雑な食品表示を分かりやすく丁寧に説明します。平成28年度は、5か所で開催します。						
参 考						
担当課						
食の安心・安全推進課						

数値目標 ⑤ 【前計画-⑩】

取組	26年度 実績	27年度 実績	年度別計画			
			28年度	29年度	30年度	
きょうと食の安心・安全フォーラムの開催 (回/年)	1	1	計画	1	1	1
数値目標の考え方						
「きょうと信頼食品登録制度」登録事業者及び「京のブランド産品」等生産者が、食の安心・安全の取組について説明する「きょうと食の安心・安全フォーラム」を1回開催します。						
参 考						
担当課						
食の安心・安全推進課						

(3) 食品のリスクについて共に考える

数値目標 ⑥ 【前計画-⑦】

取組	26年度 実績	27年度 実績	年度別計画		
			28年度	29年度	30年度
リスクコミュニケーション等の開催 (回/年)	11	17	計画 15	15	15
数値目標の考え方					
食に関するリスクをテーマに、府内各地で開催します。 平成28年度は合計15回の開催を目指します。					
参 考					
担当課					
食の安心・安全推進課					

数値目標 ⑦ 【前計画-⑳】

取組	26年度 実績	27年度 実績	年度別計画		
			28年度	29年度	30年度
農薬講習会の開催(回/年)	6	6	計画 6	6	6
数値目標の考え方					
府内の農薬取扱業者及び農薬管理指導士が最新情報を入手するとともに講習会を契機に改めて事故防止の日常の点検指導等ができることを目標とします。					
参 考					
担当課					
食の安心・安全推進課					

数値目標 ⑧ 【前計画-⑨】

取組	26年度 実績	27年度 実績		年度別計画		
				28年度	29年度	30年度
消費者、生産者等との交流・意見交換 (回/年)	5	5	計画	5	5	5
	数値目標の考え方					
	食の安心・安全に関する施策や取組について、消費者、生産者及び食品関連事業者による意見交換を行い、相互理解を進めることを目標としています。					
	参 考					
担当課						
食の安心・安全推進課						

(4) 食の安心・安全について共に考える

数値目標 ⑨ 【前計画-⑯】

取組	26年度 実績	27年度 実績	年度別計画			
			28年度	29年度	30年度	
府の施策、取組に関する消費者団体との意見交換会の開催(回/年)	3	4	計画	4	4	4
	数値目標の考え方					
	概ね四半期ごとに、府内の消費者団体と様々なテーマについて意見交換会を開催し、府の施策や取組に反映します。					
	参 考					
担当課						
食の安心・安全推進課						

数値目標 ⑩ 【前計画-⑰】

取組	26年度 実績	27年度 実績	年度別計画			
			28年度	29年度	30年度	
食の安心・安全協働サポータースキルアップ研修会の開催(回/年)	6	5	計画	5	5	5
	数値目標の考え方					
	府内5か所で年1回ずつ開催し、食の安心・安全に関する最新情報を提供します。					
	参 考					
担当課						
食の安心・安全推進課						

数値目標 ⑪ 【新規】

取組	26年度 実績	27年度 実績	年度別計画			
			28年度	29年度	30年度	
府民の関心の高いテーマについて講演会等による情報提供〔食を含む消費生活全般のテーマ〕(回/年)	2	2	計画	2	2	2
	数値目標の考え方					
	消費生活全般をテーマに団体等と協働して開催する講演会等のうち、「食」を主な内容として開催する。(年2回)					
	参 考					
担当課	27年度実績					
消費生活安全センター	10月	京都府消費者教育チーム会議「食品表示について」				
	11月	京都消費者問題セミナー「健康食品について」				

数値目標 ⑫ 【新規】

取組	26年度 実績	27年度 実績	年度別計画			
			28年度	29年度	30年度	
食の安心・安全府民大学 (仮称)の開講 (回/年)	0	3	計 画	6	6	6
数値目標の考え方						
会場での講座・実習・現地体験等に加えて、多くの府民が講座を受講できるように、講座の様子を録画しホームページで配信する「インターネット講座」を開講します。						
参 考						
担当課						
食の安心・安全推進課						

数値目標 ⑬ 【新規】

取組	26年度 実績	27年度 実績	年度別計画			
			28年度	29年度	30年度	
京野菜ランド等農産物直売所での食農体験 (回/年)	12	20	計 画	25	28	30
数値目標の考え方						
食農体験施設整備や食農体験プログラム開発を支援するとともに、食農体験実施に向けた研修会を開催することで、食農体験メニューの充実や新たな農産物直売所での食農体験実施を進めます。						
参 考						
担当課						
食の安心・安全推進課						

数値目標 ⑭ 【新規】

取組	26年度 実績	27年度 実績	年度別計画			
			28年度	29年度	30年度	
食育宣言を行い、健全な食生活をおくる府民 (人)	0	0	計 画	2000	4000	10,000
数値目標の考え方						
府民がつながり、個々の自発的な食育活動が促進されるよう、5年間で1万人の府民が自らの食に関して、自らの目標を宣言・発信できる環境を作ります。						
参 考						
担当課						
食の安心・安全推進課						

数値目標 ⑮ 【新規】

取組	26年度 実績	27年度 実績	年度別計画			
			28年度	29年度	30年度	
食品表示法 や機能性表示食品等に関する講習会の開催 (回/年)	0	0	計画	5	5	5
数値目標の考え方						
府内5か所で開催し、平成32年度に完全施行される食品表示法や機能性表示食品に関する正しい情報を提供し、府民の食品購入時の合理的な商品選択を支援します。						
参 考						
担当課						
食の安心・安全推進課						

数値目標 ⑯ 【新規】

取組	26年度 実績	27年度 実績	年度別計画			
			28年度	29年度	30年度	
きょうと健康おもてなし食の健康づくり応援店(店)	567 (※食情報提供店数)	422 (12月末時点)	計画	550	680	800
数値目標の考え方						
「減塩」「野菜たっぷり」「アレルギー表示」に取り組む飲食店の増加により、健康に配慮した食生活を支援します。						
参 考						
担当課						
健康対策課						

数値目標 ⑰ 【新規】

取組	26年度 実績	27年度 実績	年度別計画			
			28年度	29年度	30年度	
健康ばんざい京のおばんざい弁当の販売 (個)	6,285	15,679 (1月末時点)	計画	15,000	15,000	15,000
数値目標の考え方						
京都らしさのある健康弁当の認定・販売数の増加により、健康に配慮した弁当を選択できる機会を増やします。						
参 考						
担当課						
健康対策課						

数値目標 ⑬ 【新規】

取組	26年度 実績	27年度 実績		年度別計画		
				28年度	29年度	30年度
食と健康に配慮した社員食堂等の取組を行う企業(社)	20	20	計画	30	35	40
	数値目標の考え方					
	社員食堂の「たんとおあがり京都府産」施設登録や「健康づくり応援店」等との連携など、社員の食と健康に配慮する企業を増加させることを目標としています。					
	参 考					
担当課						
食の安心・安全推進課						

2 京都ならではのきめ細やかなサポートの充実

【もてなし】

京都府には、修学旅行生・外国人留学生や近年特に増加する外国人観光客を含む、年間8375万人(平成26年度)の観光客等が訪れていますが、その中には京都ならではの「食」を味わうことを楽しみにしている観光客が数多くおられます。

そのような方々に対して、安心して京都の食を味わっていただけるよう国内、国外からの観光客に対するきめ細やかなサポートを提供します。

(1) 誰にもやさしい食のおもてなし

数値目標 ⑱ 【新規】

取組	26年度 実績	27年度 実績	年度別計画			
			28年度	29年度	30年度	
ホームページ等の外国語表記での国内外の旅行・観光事業者への情報発信 (回/年)	0	0	計 画	4	6	12
数値目標の考え方						
ホームページ等での外国語表記により、国内外の旅行・観光事業者等へ京都府の食の安心・安全に関する情報発信を平成28年度においては3ヶ月に1回行います。						
参 考						
担当課						
食の安心・安全推進課						

数値目標 ⑳ 【新規】

取組	26年度 実績	27年度 実績	年度別計画			
			28年度	29年度	30年度	
食物アレルギーの子、京都おこしやす事業協力施設 (回/年)	108	145 (12月末時点)	計 画	160	180	200
数値目標の考え方						
食物アレルギーへの対応が可能な協力施設の増加を目指し、安心して外食等ができる環境をつくります。						
参 考						
担当課						
健康対策課						

数値目標 ② 【新規】

取組	26年度 実績	27年度 実績	年度別計画			
			28年度	29年度	30年度	
ハラール対応 のための研修 会 (回/年)	0	0	計 画	1	3	5
数値目標の考え方						
イスラム圏からの観光客等が安心して京都の食を楽しめるよう、関係 機関と連携し、府内5か所を目標に飲食店等を対象としたハラール対 応のための研修会を開催します。						
参 考						
担当課						
食の安心・安 全推進課						

3 監視・指導・検査の強化

【目を光らせる】

生産から消費までの一貫した監視、指導及び検査等を京都府の関係機関で構成する「京都府くらしの安心・安全推進本部」で情報共有、連携して実施します。

また、輸入食品、食品添加物などの食品衛生に関する監視の継続に加え、放射性物質に対する監視も専門家の意見も聞きながら実施します。

さらに、食品表示法施行等に対応し、効果的な監視を行います。

(1) 食品の生産・製造工程に目を光らせる

数値目標 ② 【前計画-⑰】

取組	26年度 実績	27年度 実績	年度別計画		
			28年度	29年度	30年度
農薬使用者に対する使用実態調査 (件/年)	120	120	計画 150	175	200
数値目標の考え方					
平成28年度においては府内5地域で30件ずつ調査を行い、農薬に係る危害発生防止に努めます。					
参 考					
担当課					
食の安心・安全推進課					

数値目標 ③ 【前計画-⑱】

取組	26年度 実績	27年度 実績	年度別計画		
			28年度	29年度	30年度
肥料生産業者に対する立入検査(件/年)	6	7	計画 5	5	5
数値目標の考え方					
府内5地域で年1件ずつ検査を行い、肥料が適切に生産されているか確認します。					
参 考					
担当課					
食の安心・安全推進課					

数値目標 ②④ 【前計画-⑱】

取組	26年度 実績	27年度 実績	年度別計画			
			28年度	29年度	30年度	
家畜伝染病予防法に基づく検査 (千頭羽/年)	20	20	計画	20	20	20
数値目標の考え方						
家畜伝染病予防法に基づく牛、豚、鶏等対象となる家畜の定期検査の頭羽数を目標にしています。						
参 考						
担当課						
畜産課						

数値目標 ②⑤ 【前計画-⑳】

取組	26年度 実績	27年度 実績	年度別計画			
			28年度	29年度	30年度	
鳥インフルエンザ発生予防のための千羽以上の家きん飼養農場の抗体検査 (回/年)	4	4	計画	4	4	4
数値目標の考え方						
四半期ごとに抗体検査することを目標にしています。						
参 考						
対象：千羽以上飼養の家きん農家 57戸						
担当課						
畜産課						

数値目標 ②⑥ 【前計画-㉑】

取組	26年度 実績	27年度 実績	年度別計画			
			28年度	29年度	30年度	
口蹄疫発生予防のための牛、豚など飼養者全戸への立入指導 (回/年)	1	1	計画	1	1	1
数値目標の考え方						
年1回巡回指導することを目標にしています。						
参 考						
対象：偶蹄類飼養農家 200戸						
担当課						
畜産課						

数値目標 ⑳ 【前計画一㉔】

取組	26年度 実績	27年度 実績	年度別計画			
			28年度	29年度	30年度	
貝毒の監視調査 (件/年)	20	20	計画	48	48	48
数値目標の考え方						
周年監視 (1回/月) 4カ所 (舞鶴湾、栗田湾、宮津湾、久美浜湾) 12ヶ月×4カ所=48回						
参 考						
トリガイなどの二枚貝は、水中のプランクトンを食べて成長する。プランクトンの中には微量ながら毒を含有する種類があり、このプランクトンを二枚貝が食べることで、二枚貝中に毒が蓄積される (貝毒)。 貝毒原因プランクトンの種類は明らかになっているため、海域に分布するプランクトンを調査することで、その海域に生育する二枚貝が毒化している可能性をある程度判断することが出来る。 また、ELISA検査法により、実際に二枚貝に蓄積した毒量を簡易的に把握することが出来る。						
担当課						
水産課						

数値目標 ㉑ 【前計画一㉕】

取組	26年度 実績	27年度 実績	年度別計画			
			28年度	29年度	30年度	
水産養殖事業者の巡回指導 (件/年)	25	25	計画	8	8	8
数値目標の考え方						
餌や動物用医薬品の適正使用について、府内の養殖業者約25業者を3年に一度巡回指導することを目標にします。						
参 考						
養殖場で過密養殖等を行うと、給餌量の増加や、病気の発生による薬品の使用などが発生し、周辺環境の悪化を引き起こす可能性があるため、適正な収容密度で管理する必要がある。						
担当課						
水産課						

数値目標 ㉒ 【前計画一㉖】

取組	26年度 実績	27年度 実績	年度別計画			
			28年度	29年度	30年度	
二枚貝生産者への巡回指導 (件/年)	15	15	計画	20	20	20
数値目標の考え方						
トリガイ養殖 (舞鶴、宮津、栗田、久美浜) 4カ所×3回/年 イワガキ養殖6回/年 (4~9月) その他貝類養殖 2回/年						
参 考						
担当課						
水産課						

数値目標 ③① 【前計画-②②】

取組	26年度 実績	27年度 実績		年度別計画		
				28年度	29年度	30年度
食品衛生監視 機動班による 立入検査 (件/年)	41	40	計 画	40	40	40
	数値目標の考え方					
	大規模食品製造施設、HACCP施設、大規模食鳥処理施設、と畜場等を対象(南部20回、中部10回、北部10回)					
	参 考					
担当課						
生活衛生課						

数値目標 ③② 【前計画-②①】

取組	26年度 実績	27年度 実績		年度別計画		
				28年度	29年度	30年度
食品等の収去 検査 (検体/年)	750	750	計 画	750	750	750
	105	99		105	105	110
数値目標の考え方						
うち、輸入 食品の検査 (検体/年)	流通状況、食品に対する不安や食品事故を考慮し、専門家の意見を聞きながら検体数、検査項目について設定					
参 考						
担当課						
生活衛生課						

(2) 食品表示に目を光らせる

数値目標 ③② 【前計画-②⑥】

取組	26年度 実績	27年度 実績	年度別計画			
			28年度	29年度	30年度	
食品表示における科学的検査の実施(検体/年)	30	27	計画	40	40	40
数値目標の考え方						
産地偽装事件の発生などの状況に応じて、検査を行うことが効果的と考えられる食品について、4品目10検体程度の検査を実施します。						
参 考						
担当課						
食の安心・安全推進課						

数値目標 ③③ 【新規】

取組	26年度 実績	27年度 実績	年度別計画			
			28年度	29年度	30年度	
食品表示に係る巡回調査(件/年)	301	300	計画	260	280	300
数値目標の考え方						
乙訓管内及び各広域振興局単位でスーパー・小売店等60店舗を選定し、商品に名称や原産地等が表示されているかを巡回調査により確認します。						
参 考						
担当課						
食の安心・安全推進課						

数値目標 ④ 【再掲 前計画②】

取組	26年度 実績	27年度 実績		年度別計画		
				28年度	29年度	30年度
事業者向け食品表示講習会の開催（回／年）	6	6	計画	5	5	6
	数値目標の考え方					
	農産物直売所出品者、商店街事業者等の中小規模事業者を対象に、府内6か所で1回ずつ開催し、複雑な食品表示を分かりやすく丁寧に説明します。平成28年度は、5か所で開催します。					
	参 考					
担当課						
食の安心・安全推進課						

(3) 放射性物質に目を光らせる

数値目標 ③④ 【前計画-①】

取組	26年度 実績	27年度 実績	年度別計画			
			28年度	29年度	30年度	
流通食品（京都府でと畜された牛の肉を除く）の放射性物質検査（検体/年）	200	200	計 画	200	200	200
数値目標の考え方						
加工食品や子どもが口にする食品を中心に、検査機器の能力、流通状況を考慮し、専門家の意見を聞きながら検体数を設定。 なお、京都府でと畜された牛のうち、東日本17都県（原子力災害対策本部において地方自治体の放射性物質検査計画の策定を定められた都県）産については、全頭検査。						
参 考						
担当課						
生活衛生課						

数値目標 ③⑤ 【前計画-②】

取組	26年度 実績	27年度 実績	年度別計画			
			28年度	29年度	30年度	
府内産農林水産物の放射性物質検査（検体/年）	275	214	計 画	218※	190	170
数値目標の考え方						
府内主要農産物50品目を、出荷時期、地域毎に、市町村の要望を踏まえながら産地検査 ※28年度は、府研究機関からの採材は前年並（150検体）とし、広域振興局枠は、市町村、生産者、消費者の要望に基づき検査						
参 考						
担当課						
食の安心・安全推進課						

4 安心・安全の基盤づくり

【支える】

食品が生産・製造される段階で安全性を高め、消費者の食品に対する信頼感が向上するよう、農産物の生産工程管理手法（GAP）や京都こだわり農法などを実践する農家の拡大と生産情報の提供、農家による家畜伝染病対策の強化、加工食品の品質管理の一層の向上など生産者・事業者の自主的な取組状況を促進するとともに、その取組を積極的に情報発信します。

(1) 信頼の京都の農林水産物・食品をつくる

数値目標 ③⑥ 【新規】

取組	26年度 実績	27年度 実績	年度別計画			
			28年度	29年度	30年度	
GAP手法導入	⑦2 ①589	⑦8 622	計 画	⑦9 ①644	⑦10 ①725	⑦12 ①805
(内訳)	数値目標の考え方					
⑦認証GAP取得・農場(件)	⑦食の安全確保と消費者の信頼確保のため、第三者機関が認証するJGAPを目指す意欲的な農家を中心に取得を推進します。					
⑧宇治茶GAP実践者(戸)	⑧JA全農京都茶市場を中心に、宇治茶の出荷を行う生産者が組織する京都府茶生産協議会の全員が宇治茶GAPを実践し、安心・安全な宇治茶を供給することを目標としています。					
	参 考					
担当課						
農産課						

数値目標 ③⑦ 【新規】

取組	26年度 実績	27年度 実績	年度別計画			
			28年度	29年度	30年度	
機能性表示食品制度を活用して商品開発を進める農産物等(品目)	0	2	計 画	3	4	5
	数値目標の考え方					
	機能性に関与する成分をもつ伝統野菜を対象に、科学的根拠の取得や加工品開発の取組を推進します。					
	参 考					
担当課						
流通・ブランド戦略課						

数値目標 ⑳ 【前計画-㉔】

取組	26年度 実績	27年度 実績		年度別計画		
				28年度	29年度	30年度
自主的な茶残留農薬分析 (検体/年)	20	20	計画	20	20	20
	数値目標の考え方					
	産地ごとに生産される茶種別に残留農薬分析を実施します。					
	参 考					
担当課						
農産課						

数値目標 ㉑ 【前計画-㉕】

取組	26年度 実績	27年度 実績		年度別計画		
				28年度	29年度	30年度
農薬管理指導士の新規登録者 (実人数) (人)	19	37	計画	20	20	20
	数値目標の考え方					
	一定の新規登録者を確保し、農薬管理指導士の指導のもとで、農薬の適正使用により危害発生を防止することを目標としています。					
	参 考					
担当課						
食の安心・安全推進課						

数値目標 ㉒ 【前計画-㉖】

取組	26年度 実績	27年度 実績		年度別計画		
				28年度	29年度	30年度
食品衛生推進員又は食品衛生指導員による巡回指導 (件/年)	5,700	5,700	計画	5,700	5,700	5,700
	数値目標の考え方					
	27年度の飲食店等巡回指導件数の実績値(5,500)に、府民向け啓発件数を加えて数値目標を設定。					
	参 考					
担当課						
生活衛生課						

数値目標 ④① 【前計画-④①】

取組	26年度 実績	27年度 実績	年度別計画			
			28年度	29年度	30年度	
調理作業工程表及び作業動線図を整備している学校給食調理場(か所)	129	138	計 画	161	161	161*
	数値目標の考え方					
	すべての学校給食調理場において、調理作業工程及び作業動線図を作成・確認し作業に当たることにより、学校給食における食中毒の発生を防止します。					
	参 考					
担当課						
保健体育課						

※ 小中学校の統廃合に伴う給食調理施設数(予定)

数値目標 ④② 【新規】

取組	26年度 実績	27年度 実績	年度別計画			
			28年度	29年度	30年度	
京のこだわり畜産物生産農場の登録(戸)	29	40	計 画	47	54	60
	数値目標の考え方					
	「元気で安全!」京のこだわり畜産アクションプラン検討委員会で決定した制度で27年度までに40戸を登録、30年度60戸を目標としている。					
	参 考					
担当課						
畜産課	農場の衛生管理を徹底するとともに、地元産飼料の利用や暑熱対策などこだわった飼い方により、安心・安全で高品質な畜産物を生産する農場を京都府が登録する制度で、農林水産京カプラン~セカンドステージ~においても、施策目標としている。					

数値目標 ④③、④④ 【前計画-④⑤、④⑥】

取組	26年度 実績	27年度 実績	年度別計画			
			28年度	29年度	30年度	
環境にやさしい農業の推進	④③ 511	④③ 511	計 画	④③ 529	④③ 565	④③ 565
	④④ 2,838	④④ 3,300		④④ 3,555	④④ 3,830	④④ 4,100
④③ 京都こだわり農法取組面積(ha)	数値目標の考え方					
	④③ブランド京野菜を中心に主要4品目(九条ねぎ、万願寺とうがらし、みず菜、紫ずきん(京夏ずきん))を中心に取組面積の拡大を目指します。					
	④④たい肥等土づくりと化学肥料、化学合成農薬低減技術の普及と生産者への技術支援により、エコファーマーの認定を推進します。					
	参 考					
担当課						
農産課						

(2) 品質管理や情報開示に取り組む食品事業者を育てる

数値目標 ④⑤ 【一部新規 前計画-④⑤】

取組	26年度 実績	27年度 実績		年度別計画		
				28年度	29年度	30年度
きょうと信頼 食品登録制度 への登録 (事業者)	⑦63	⑦64	計 画	⑦70	⑦70	⑦70
	⑦3	⑦5		⑦8	⑦11	⑦15
	⑦0	⑦0		⑦1	⑦3	⑦5
	数値目標の考え方					
品質管理等の底上げと、HACCP導入へ向けたステップアップを併せて、伝統ある高品質の京の食品の安心・安全に取り組みの目標とする。						
参 考						
⑦登録数						
⑦☆☆クラス登録数						
⑦☆☆☆クラス登録数						
担当課						
食の安心・安全推進課						

数値目標 ④⑥ 【前計画-②⑤】

取組	26年度 実績	27年度 実績		年度別計画			
				28年度	29年度	30年度	
食品製造事業者内の食品表示指導者(人)	38	46	計 画	54	62	70	
	数値目標の考え方						
	事業者の内部監視制度として、食品表示の適正化とコンプライアンス(法令順守)に関する意識向上に向け、新たに25業種で各1名ずつ増やすことを目標としています。						
	参 考						
担当課							
食の安心・安全推進課							

(3) 輸出の促進に向けた食品安全管理等における国際標準化への対応

数値目標 ④⑦ 【新規】

取組	26年度 実績	27年度 実績	年度別計画			
			28年度	29年度	30年度	
グローバル G.A.P.等 輸出対応の認 証GAP取得 農家・農場 (件)	0	0	計 画	1	2	10
数値目標の考え方						
既にJGAPを取得している農場や輸出実績のある農家が輸出対応の 認証GAPを取得することを目標としています。						
参 考						
担当課 農産課						

数値目標 ④⑧ 【新規】

取組	26年度 実績	27年度 実績	年度別計画			
			28年度	29年度	30年度	
地理的表示保 護制度(GI) の登録(件)	0	0	計 画	5	8	10
数値目標の考え方						
長い歴史に培われた特徴ある京の伝統野菜の中から「京のブランド 産品」を中心に生産者組織や農業団体と連携して登録を推進します。						
参 考						
担当課 流通・ブラン ド戦略課						

数値目標 ④⑨ 【新規】

取組	26年度 実績	27年度 実績	年度別計画			
			28年度	29年度	30年度	
農場HACC P制度を推進 する農場指導 員(人)	7	8	計 画	9	11	12
数値目標の考え方						
毎年、農場指導員を1～2名養成することとしています。						
参 考						
農場指導員：生産農場における農場HACCPの導入・実施を指導する者						
担当課 畜産課						

数値目標 ⑤ 【新規】

取組	26年度 実績	27年度 実績		年度別計画		
				28年度	29年度	30年度
H A C C P システムの 工程管理手 順に着手し ている事業 所 (所)	5	5	計 画	50	100	150
	数値目標の考え方					
	食品等事業者へのアンケート調査 (H27.3実施) で、「数年中に着手 予定 (着手したい)」と回答した事業者数を考慮し設定					
	参 考					
担当課						
生活衛生課						

